



福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。



早や師走、今年のカレンダーも残す所、あと一枚となりました。見上げれば、夜空に凜と寒気が冴えた輝きを放っています。

去り行く一年を回顧し到来する年に想いを致す月です。歳の瀬の寒さも、いや増す時節、皆様には、どうぞ、ご健勝にて、良き新年をお迎えください。



<紙面から>

ふれあい文化祭・デイサービス作品展 …1ページ

ケアオリンピック武蔵野 2016 開催

言葉カフェ ヘルパー研修 …2ページ

地域健康クラブ交歓会 中間監査報告 …3ページ

お知らせ リレーコラム …4ページ

高齢者総合センター ふれあい文化祭 デイサービス作品展

11月9日のカラオケ発表会から始まり、11日まで恒例のふれあい文化祭とデイサービス作品展が開催されました。

社会活動センターの各講座や境南小学校ふれあいサロンの受講者の皆様、デイサービスご利用者が、日頃取組まれている活動の成果をご披露する場です。

社会活動センターの作品展、講座発表会、煎茶道お茶会、シャンソンコンサートには、820名のお客様がお越しくださいました。



講座発表会での輝く表情、心を込めて制作された展示作品の数々、その一つ一つから健康長寿を実現するための努力、澁澀とした人生への意思、積極的な老後生活の実践が伺えました。第二の青春を謳歌する姿がそこにはありました。

発表と展示



同時開催されたデイサービスの作品展には、233名がおいでになりました。

要介護認定を受けても、明るく自分らしく日々を過ごし、プログラム・趣味活動に積極的に参加なさるご利用者のひたむきな姿勢は、尊く、後進のお手本となります。



ご来場者からは、「利用者の努力が伺える素晴らしい作品」「年々向上している」「人生のお手本としたい」「努力と楽しみが伝わる」「80歳になったらこのデイサービスで作品を作りたい」「テーブル菜園には感動した」などなど、嬉しいお言葉の数々を頂きました。

平板に流れる日常生活に様々な意味で良いアクセントとなる、1年に1度の大切な場がふれあい文化祭・デイサービス作品展です。それを更に意義深いものとするよう、高齢者総合センターは、ご利用者と共に歩んでまいります。



ケアオリンピック武蔵野 2016 開催



今年は「広げよう！まちぐるみの支え合い」をスローガンに11月26日に開催されました。

介護保険サービスを提供している介護・看護の専門職のみならず、テンミリオンハウスや市民社会福祉協議会、シルバー人材センター等、支え合いの地域活動を実践している団体も参加しました。市が進める自助・互助・共助・公助の担い手が一堂に会し、より多様な活動主体が相互に連携しながら、地域包括ケアを進める契機となる有意義なイベントでした。

ケアオリンピックの目的は、「①介護職・看護職へ感謝を伝え、15年に亘り従事した専門職を表彰する。②介護サービス事業所や市民団体などの先進的活動事例を地域で共有し、質の高いサービスを地域全体に広める。③介護・看護に関する様々なサービスを広く伝え「まちぐるみの支え合い」を推進する。④これらにより介護サービス従事者が武蔵野市で夢と誇りを持って働けることができるようにする」ことです。

①ではホームヘルプセンター武蔵野に所属する介護職の9名が表彰されました。

②の事例発表はポスターセッションを含め、37団体がエントリーし、医療と介護の連携部門では、高齢者総合センターデイサービスセンターの小芝保健師が「デイサービスにおける看取り支援について」報告しました。過去の実践経験と現在のご利用者・ご家族からのアンケートを基に、早期退院・在宅復帰の社会的潮流を背景として看取り支援のニーズを調査し、それを達成するための人的・物的体制を考察して、ご利用者の終末期を支える論を展開しました。残念ながら昨年に続いての最優秀賞獲得はなりませんでした。2025年問題に対応する新しいデイサービスの在り方を提言できました。

スイングホール11階のレインボーサロンでは福祉公社全体の紹介ブースを出しました。

特に権利擁護センターはご利用者と一体となり、福祉サービス利用の基礎となる判断能力を補完し、金銭管理を支援するサービスを提供していますので、他の事業者の方々と交流できたことは有益でした。今後も広く市民の皆様にご報告して、その尊厳ある老後生活を構築するお手伝いをしたいと存じます。

各事業者がそれぞれの立場で連携し、ご利用者が住み慣れた武蔵野で暮らし続けられるように、心ひとつになることを実感したケアオリンピックでした。来場なさった境南小学校ふれあいサロンご受講者の「ためになったし、安心だわ！」とのご感想がそれを表しています。



言葉カフェ

11月18日に高齢者総合センターで、補助器具センターが、第1回言葉カフェを開催しました。

これは、失語症や構音障害、老人性難聴などのコミュニケーション障害を持つ方とご家族が気軽に集える場で、言語聴覚士が支援しています。

目的は社会的孤立感を解消し在宅生活を支援することです。当日は失語症の方が2名、ご家族、ボランティアなど総勢11名がお越しでした。

コミュニケーションを補完する資料やカレンダー、地図帳なども用意し、和やかに交流しました。ご参加者からは「また参加したい」「次は何日？」「話ができて良かった」などの感想を頂き、言葉カフェのニーズを確認しました。

お問い合わせ 補助器具センター ☎51-1974

認知症見守り支援ヘルパー養成研修

ニッポン放送・松本秀夫アナウンサーを講師にホームヘルプセンター武蔵野が11月25日に「介護者の気持を知ろう」と題して開催しました。同氏はスポーツアナウンサーの傍ら介護に携わり、「熱闘！介護実況 私とオフクロの7年間」という著書もあります。

職業生活との両立に悩みながら、親子の愛情に満ちた赤裸々な介護体験が語られました。

受講者からは、「素晴らしい研修だ」「息子が母親を介護する難しさを知った」「職業を持つ男性介護者の大変さが分かった」「支援者のあるべき姿を考える参考になった」「家族の気持ちにも寄り添ったケアを目指す」などの高い評価や感動の声が寄せられました。

地域健康クラブ交歓会

11月2日、総合体育館で、恒例の地域健康クラブ交歓会が開催されました。

同クラブには、60歳以上の市民1,205名が参加していますが、当日は519名が参集なさいました。



競技の開始にあたっての宣誓は、吉祥寺南町コミュニティセンターの伊藤智章氏です。

「交歓会を喜び楽しみ、一体感を以て頑張って競技する」との力強い宣言でした。

ご参加の皆様は、和気あいあいと、しかし、熱い競技を繰り広げ、21世紀の自立と自律を旨とする高齢市民像を、毎回、お示しくださっています。まさに、第二の青春を謳歌

する健康長寿のトップランナーと言えましょう。

ご案内の通り、同クラブは高齢者の生きがいと健康作り推進事業として平成元年に開始されたものです。

高齢者総合センター社会活動センターが指導に当たるヘルシーライフプロジェクトと協働して運営に当たり、昨年度は延べ33,824人が参加されました。

その特長は、地域コミュニティの一員であるクラブ員の皆様が、自宅に身近な市内各所のコミュニティセンター等に通い、健康作り、介護予防に取り組むことです。地域活動や福祉の会に所属する方々も多く、人と人とのつながりを紡ぐ地域コミュニティと密接なクラブでもあります。また各コミュニティ協議会は共催者としても位置付けられています。

そのような背景を持つ地域健康クラブの交歓会ですが、優勝は緑チームでした。



おめでとうございます。

緑チームには桜堤コミュニティセンターで活き活きと活動に励む皆様が所属され、同センターも優勝を祝って下さいました。

コミュニティ協議会とクラブ員が喜びを共有することはクラブ員の方々への大きなお励ましであり、コミュニティ協議会と密接不離の地域健康ク

ラブの理念を具現することでもあり、ヘルシーライフプロジェクトの山本代表は感激しています。今後もより良い地域健康クラブの運営に尽力いたします。



表彰式

桜堤コミセンの皆様

中間監査報告



平成28年度上半期の事業及び会計監査が、11月4日に実施されました。

五十嵐、安田両監事により、事業運営と会計処理がコンプライアンスを遵守し、適正に遂行されているか監査されました。

監査は、資料の読み込み、各事業担当者からの聞き取りや会計帳簿・領収書等の証拠書類の点検等の手法により進められました。

事業の運営については当初の計画どおり順調に進んでいること、会計については適正に処理されていることが検証・確認されました。

福祉公社は、今後とも、法令、諸規範を遵守し、健全な事業執行に努めます。

会社からのお知らせ

高齢者総合センターデイサービスセンター 「新春餅つき大会」

日時 平成29年1月6日(金)午後13時から15時
場所 高齢者総合センター1階ロビー
問合せ・申込 高齢者総合センターデイサービスセンター ☎ 51-2933

親子10組募集参加費無料



おいじたく講座

日時 12月21日(水)13時30分から15時
内容 成年後見制度について
場所 市民会館 第2学習室

エンディングノートの書き方講座

日時 1月12日(木)13時30分から15時
場所 福祉公社1階会議室
問合せ・申込 権利擁護センター ☎23-1165

家族介護支援教室 みどりの輪 ～ 人に聞けない葬儀の話 ～

日時 1月27日(金)
13時30分から15時
場所 高齢者総合センター1階ダイルーム
問合せ 在宅介護・地域包括支援センター
申込 ☎ 51-1974

職員リレーコラム



第31回

《年越し準備》



総務課 白須 和恵

先日、時間ができたので、ずっと気になっていた障子を張替えました。

実家と我が家の2軒分、大小合わせて計12枚です。ちょっと時期が早いかなと思いつつ、ホームセンターへ障子紙を買いに。すると、本当に時期が早かったらしく、選べるほど種類がありません。まあ、仕方ないか。店頭にあるものを購入し作業開始です。1枚目が完成しましたが、なぜかしわが。きっと霧を吹いて乾けばピンとなるはず、と思い直し作業続行。

その後は順調に進み、障子を部屋に戻し完了です。なんとなく部屋が明るくなった気がします。が、結局1枚目の障子は乾いてもしわは取れず、一番残念な仕上がりでした。張替えて気持ちは良いのですが、ちょっとモヤモヤしています。



⇒ 次回は 総務課 石原 貴裕

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成29年1月10日発行予定です



武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikoshi.jp/>